

1. 地域経済と課題

- (1) 金融面では「コロナ対策資金」での融資が早いものは今年3月ころから約定返済が始まるものがある。コロナの先行きが不透明な中返済に苦慮する事業所が出てくると思われる。丁寧な相談が求められている。こうした中であっても住宅ローンは相変わらず堅調である。
- (2) 労働市場を昨年の有効求人倍率で見ると、コロナ禍のなかでも4月、5月に0.98、0.99と1を下回ったものの、他の月は1を上回っている。特に11月は1.29と前年同月を大幅に上回った。急激な人口減の中で生産性の向上策を官民挙げて追及していく必要がある。
- (3) 洋上風力発電の昨年末の入札結果が驚愕をもって受け止められている。秋田2地区、銚子沖の3地区とも三菱商事グループが総取りした。驚きは価格で入札上限の29円/kWhに対して落札価格は11.99~16.49円/kWhである。唐津での事業展開にも大きな影響を与えられる。
- (4) 1/27~2/20までの時短要請。今回初めて、感染防止の認証店と認証店以外で時間、酒類提供の可否が異なるが認証を受けていない店も多い。知事の呼びかけに応じ1/30までの駆け込み申請が唐津でもあったと聞く。「アクリル板が置けない」と申請を見送っている店もあった。とりあえず相談を、とアドバイスしている。

2. 経営相談(巡回・窓口)から見える地域経済と課題

- (1) 10月から12月までの第3四半期の巡回指導212件、窓口指導640件を行った。窓口指導については、ほぼ前年並みの件数で推移。
- (2) 1月初旬からのコロナ急増に伴い、市内の飲食店の多くは来客が以前の様に戻ってない事と感染拡大を懸念し自主的に店を休業している。
- (3) 国の事業復活支援金の申請が1/31から始まっている。コロナの影響を受け売上が減少した中小法人・個人事業者が給付対象。なお中小法人は上限最大250万円、個人事業者は50万円を給付。売上減比30%以上が該当するため対象者は多い事が予想される。窓口や電話問合せも非常に多い状況である。
- (4) 県の第7期となる時短営業要請が飲食店に対し、2/20まで(25日間)行われている。今回、県は認証店の有無で生じる協力金の差異をなくすため独自予算で対応し、時短への協力を促している。
- (5) コロナ禍で既存事業の業況悪化に伴い事業再構築や業態転換など模索している事業者が増えていることから補助金活用に向けた相談が増加している。
- (6) 再び1/27から2/20までコロナ感染拡大によるまん延防止等措置が佐賀県に適用され飲食・宿泊など観光業を中心に特に厳しい状況が続く見込みである。また行事やイベント等の中止も多く、地域経済に大きな影響を及ぼすと思われる。

3. LOBO 調査(早期景気観測)& 中小企業景況調査

(1) LOBO 調査【令和4年1月調査】

業況DIは、オミクロン株の感染拡大により悪化。先行きは、感染急拡大への警戒心から厳しい見通し。

- ・ 全産業合計の業況DIは、▲18.2 (前月比▲2.4ポイント)

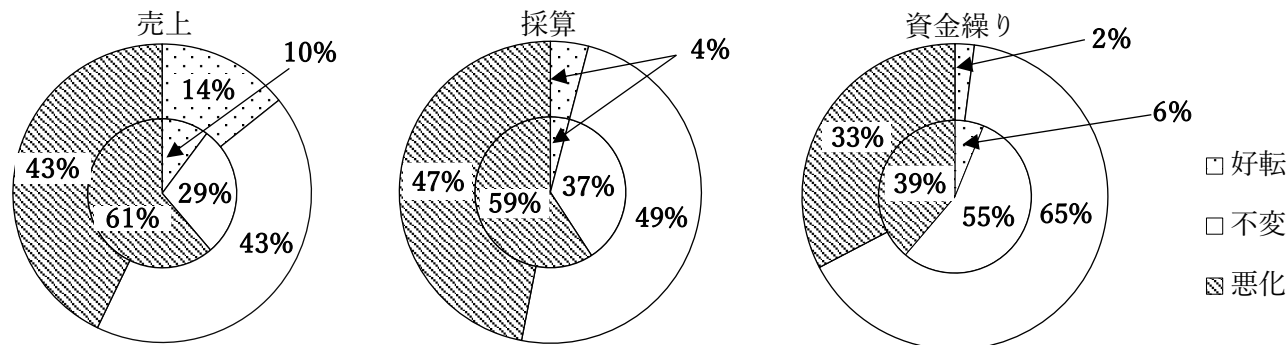
全国：自動車関連で生産回復の動きが見られる製造業や、消費者マインドの回復により年始の初売りが好調だった小売業の業況感が改善した。一方、新型コロナウイルスのオミクロン株の感染拡大に伴い、飲食業・宿泊業などのサービス業では、イベントの中止や予約のキャンセルが相次ぎ、客足が急減した。また、幅広い業種で、部品供給制約による納品遅れ、原油価格を含む資源価格や原材料費の上昇によるコスト増加が続いており、中小企業の業況改善に向けた動きは継続も、足元で鈍さが見られる。

九州：業況 DI は悪化。サービス業では、ソフトウェア関連は底堅く推移したものの、沖縄県におけるまん延防止等重点措置の適用を受け、飲食・宿泊業を中心に客足の低迷や予約キャンセルの増加がみられ、業況感が悪化。卸売業では、ホテルや飲食店等を取引先とする飲食料品関連で売上が悪化したほか、建設業関連では資材価格上昇が木材等のみならず、セメントや管材等にも広がり、仕入価格が上昇したことで採算も悪化した。

(2) 中小企業景況調査【令和3年7月～9月調査】

円グラフの外側：前年同期（2020年10～12月）と比べて今期（2021年10～12月）の状況

内側：前々年同期（2019年10～12月）と比べて前年同期（2020年10～12月）の状況



直面している経営上の問題点（各業種の最も多かった問題点）

製造業：需要の停滞

小売業：需要の停滞

建設業：材料価格の上昇

サービス業：需要の停滞

卸売業：需要の停滞

→5業種中、4業種が「需要の停滞」を挙げている中、建設業ではコロナによるサプライチェーンの毀損や原油価格の高騰に伴う建築資材等の材料の価格高騰が大きな問題となっている。

4. 唐津の街のトピックス

- (株)ブルームが第55回「グッドカンパニー大賞」を受賞。松浦通運(株)が「はばたく中小企業・小規模事業者300社」に選定。コロナ禍の中、地元企業の明るい話題は他の事業者にとってもお手本と励みになる。
- 縫製会社の旧エンゼルの後に（仮称）唐津駅南マンションが、近くに、「サンパーク唐津駅南レジデンス」（42戸）も建設中。駅南付近で残る大規模空き地は「ルナモンド」跡地がどう活用されるかが興味の焦点。
- 旧唐津発電所栈橋等撤去及び安全教育センター（平屋550㎡）の建設（2021.12～2023.3）が始まった。早期の全体の土地利用構想策定が望まれる。
- 今年の大丸（福岡）の福袋に「玄海町での釣り」があった。「九州深発見福袋」、コトを福袋の内容にしている。唐津も「人気作陶家による唐津焼絵付け指導&食事」とかを売り込んではいかがだろうか。
- 眼科がなかった浜玉地区に新しく眼科が開業する。キャロット浜玉店のメディカル棟の中。
- 唐津出身の伊藤（鶴田）登志子さん（キモノプロジェクトでご協力）のご主人が昨年12月2日の国連ボランティア50周年記念式典に招待され、ご夫妻でNY2泊4日の弾丸ツアーで参加、スピーチもされたとか。
- 唐津は隠れた唐辛子の産地と言えます。①1位栃木30t、2位大分22t、3位福岡16tに対し(株)クラベルジャパンは1社で昨年15t生産。②「唯一味」は無農薬、化学肥料不使用栽培。13gで1000円と他の数倍の値段。オンラインと全国25店舗で販売。容器デザインと無農薬ストーリーで高付加価値を実現。
- コロナ2題。「コロナ7業種」は飲食、宿泊、運輸、小売、娯楽、生活関連、医療福祉。「BC&AC」は紀元前、紀元後ではなくビフォーコロナ、アフターコロナ。コロナ7業種のアフターコロナの途を探ろう。
- 技能実習生が3年間の契約が切れ、次の特定技能実習生に進む際、より給料の高い職場を求めて契約を更改しない例があり、唐津の事業者の中に引き留め策に苦労している。福利厚生充実で対応できないか。

唐津商工会議所では、『KCCI 地域経済四季報 Eクォーター』を発行します。市内の商工業、街づくりについての情報をお待ちしています。唐津商工会議所 TEL：72-5141 FAX：72-5146 Email：kcci@karatsu.or.jp